

[まき/タキギ]

# 薪 火のつけ方

## ①安全確認と材料

- ・火を起こす場所が適切かどうか
- ・服装は燃えやすいものではないか

## ②道具の準備

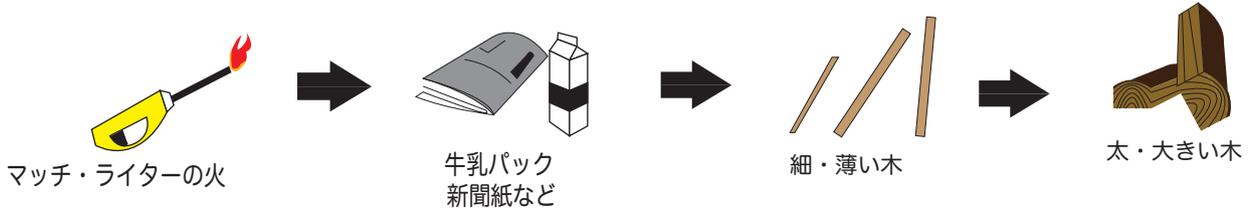
- ・かまどの状態確認、火ばさみ、軍手など準備

## NG行動

- ・素手でマキに触れる
- ・うちわであおぐこと
  - ・(紙の燃えカスがある時)

## ③実施前に知っておきたいこと

1) 火をつけるには順番がある(マッチやライターの火からいきなり薪は燃えない)

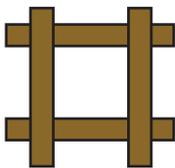


割り箸程度のものから大きく太いものを

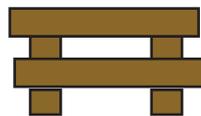
## 2) 条件を整える

- ・酸素がないと火は効率よく燃えてくれない→木と木の間に空間が必要
- ・高さがないと火が届かない→でも細い木だと長持ちせず、くずれてしまう

## 木の組み方の例



上から見たところ



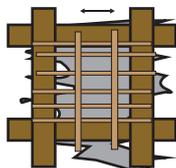
前からみたところ

①土台になる太くて長いものを井形に組む

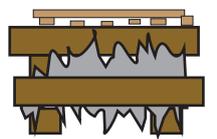


新聞紙はあまり固めてしまわずに少しふわっとさせておく

木と木の間に空間を与える



上から見たところ



前からみたところ

高さを出す

②細い木を新聞紙の炎で燃えるように下に

③細い木は太い木の上にセットする